

# 微動だにせず獲物を待つ、 根気強い巨大鳥。

## 大型魚を豪快に丸呑み

彫像のように動かないことで知られている、ハシビロコウ。巨大なくちばしと、戦いを挑んでいるかのような鋭い目つきが特徴的な鳥です。一見、コウモテなのですが、後頭部の羽毛がぴょこんと跳ね上がっていて、まるで寝ぐせのように見えるところがなんとチャームング。学名の「*Balaeniceps rex*」は、クジラ頭の王様という意味で、独特な容姿をうまく表現しています。

なぜ動かないのかというと、獲物を狙う際、相手に警戒心を起こさせないための習性です。獲物となるのは主にハイギョ。大型の魚ですが、ハシビロコウはその大きなくちばしで捕らえ、丸呑みしてしまいます。ハイギョはエラ呼吸と肺呼吸をする珍しい魚で、息継ぎのために数時間ごとに水面から口を出して呼吸をします。ハシビロコウはそのタイミングを動かずにじっと待っているのです。ハイギョのほかにはティラピアやナマズも食します。ちなみに動物園では、ハイギョの代わりに鯉などを与えています。

## お辞儀は親愛の証

ハシビロコウに会える動物園は国内に7か所で、約20羽が飼育されています。最多の飼育数を誇るのは恩賜上野動物園（東京都）で、5羽が暮らしています。直近で展示公開をしたのは掛川花鳥園（静岡県）で、7月1日にハシビロコウの森をオープンしました。今のところ、1羽を飼育しています。

単独行動を好むので繁殖が難しく、動物園での繁殖例は世界で2つしかありません（2015年時点）。人間による飼育期間が長くなるほど攻撃性が高まる傾向にあるともいわれているので、動物園での繁殖はじつに困難なことなのです。

「動かない」といわれているものの、ごくまれに飛ぶ姿を見ることが出来ます。首を振ってお辞儀をする姿もしばしば見られます。親愛を意味しているそうですが、動物園のお客さんに対してお辞儀をするハシビロコウもいるので、機会があったらぜひ挨拶をしに行ってみましょう。

## ハシビロコウ ペリカン目ハシビロコウ科 *Balaeniceps rex*

大型の鳥類。頭頂までの高さは110～140cm。翼を広げると230～260cmにもなる。生息地域はアフリカのビクトリア湖周辺の湿地や川など。絶滅危惧種。

